



評価結果	(各行政機関共通区分) 進展が大きくない
	(判断根拠) <p>○騒音に係る環境基準の達成状況は、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年緩やかな改善傾向にあり、平成26年度の環境基準の達成状況は83.7%となっている。</p> <p>○自動車騒音に関する環境基準の達成状況は、各年度で評価の対象としている住居等の違いを考慮する必要はあるものの、近年緩やかな改善傾向にあり、道路に面する地域における平成26年度の環境基準の達成状況は、93.2%となっている。</p> <p>○航空機騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、平成26年度の環境基準達成状況は76.0%であり、近年緩やかな改善傾向にある。</p> <p>○新幹線鉄道騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、平成26年度の環境基準達成状況は51.8%であり、平成25年度と比較して低下した。</p> <p>○振動に関する苦情件数は増加傾向にあるが、平成26年度は減少に転じた。</p> <p>○悪臭に関する苦情件数は11年連続で減少している。</p> <p>○ヒートアイランド対策については、熱中症予防情報サイトのアクセス数は例年と同程度であった。</p>
	施策の分析
次期目標等への反映の方向性	
学識経験を有する者の知見の活用	

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	各年度 騒音規制法施行状況調査(環境省) 各年度 振動規制法施行状況調査(環境省) 各年度 悪臭防止法施行状況調査(環境省) 各年度 自動車交通騒音実態調査報告(環境省)
---------------------------	--

担当部局名	大気生活環境室 環境管理技術室 自動車環境対策課	作成責任者名 (※記入は任意)	行木 美弥(大気生活環境室長) 田路 龍吾(環境管理技術室長) 瀧口 博明(自動車環境対策課長)	政策評価実施時期	平成28年8月
-------	--------------------------------	--------------------	--	----------	---------